

1 3 南海トラフ地震

1 南海トラフ地震とは

南海トラフ地震は、駿河湾から日向灘沖にかけてのプレート境界を震源域として概ね100～150年間隔で繰り返し発生してきた大規模地震で、今後30年以内に発生する確率は80%程度とされています。

特徴としては、南海トラフ沿いの西側(東側)で地震が発生した際、連動して東側(西側)でも後発地震発生可能性があります。



2 南海トラフ沿いで観測され得る異常な現象

南海トラフ沿いで大規模地震の発生が高まったと判断できるケースは、次の3通りです。

半割れ(大規模地震 M8 以上)／被害甚大ケース
南海トラフの想定震源域内のプレート境界において M8 以上の地震が発生した場合

南海トラフ東側で大規模地震(M8クラス)が発生

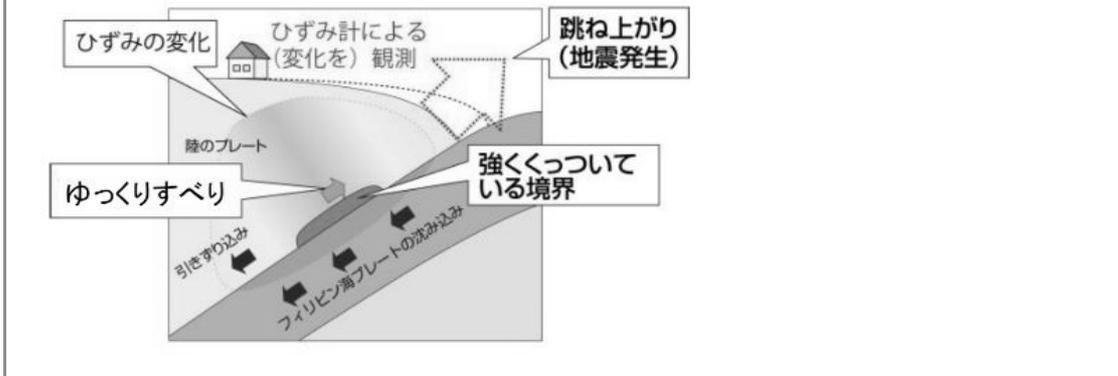
※西側で先に地震が発生し、東側が連動することも考えられる

一部割れ(前震可能性地震 M7 以上 8 未満)／被害限定ケース
南海トラフ沿いで大規模地震に比べて一回り小さい地震 (M7 クラス) が発生した場合

南海トラフで地震(M7クラス)が発生

ゆっくりすべり／被害なしケース

短い期間にプレート境界の固着状態が明らかに変化しているような通常とは異なるゆっくりすべりが観測された場合



出典 南海トラフ地震の多様な発生形態に備えた防災対応検討ガイドラインをもとに作成

3 異常な現象に伴い発表される南海トラフ地震臨時情報

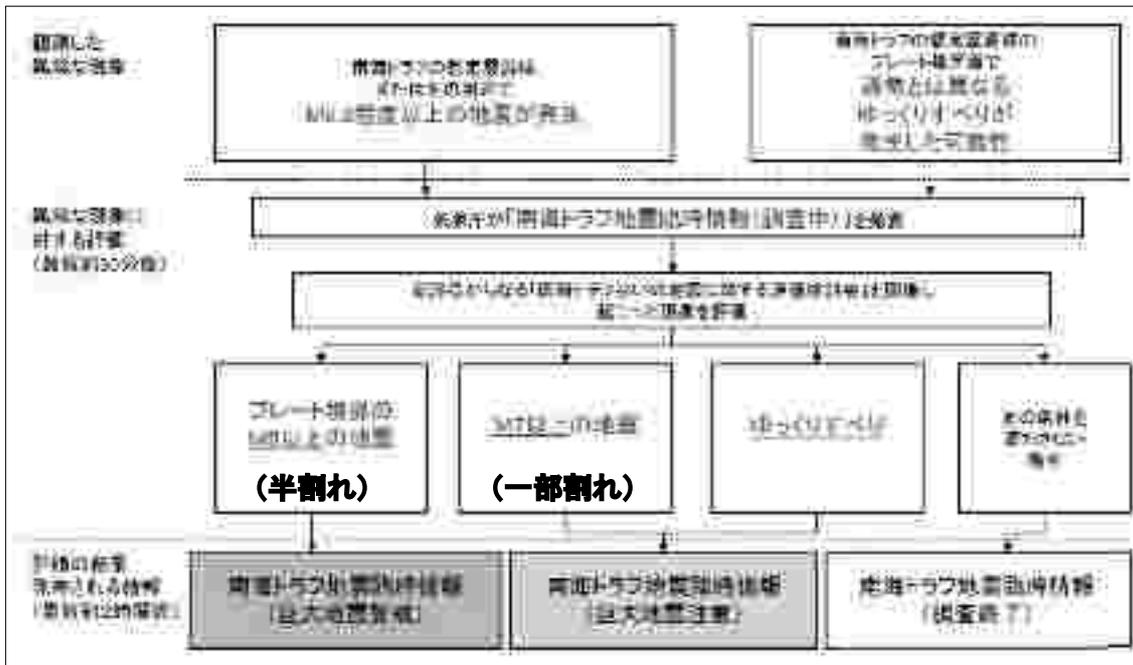
南海トラフ地震臨時情報とは、南海トラフ沿いで大規模地震の発生する危険性が高まったときに、気象庁が発表する情報です。南海トラフ地震臨時情報が出た場合、津波からの避難が間に合わない地域などでは、あらかじめすべての住民が避難の対応を行います。

気象庁は、南海トラフ沿いでM6.8以上の地震が発生、またはプレート境界面で通常とは異なるゆっくりすべり等を観測した際は、「南海トラフ地震臨時情報（調査中）」として発表します。

その後、前項の3つのケースのいずれかに該当する現象と判断された場合には、気象庁から次の情報が発表されます。

異常な現象	発表される情報
半割れ(大規模地震 M8 以上)／被害甚大ケース	南海トラフ地震臨時情報 (巨大地震警戒)
一部割れ(前震可能性地震 M7 以上8 未満)／被害限定ケース	南海トラフ地震臨時情報 (巨大地震注意)
ゆっくりすべり／被害なしケース	

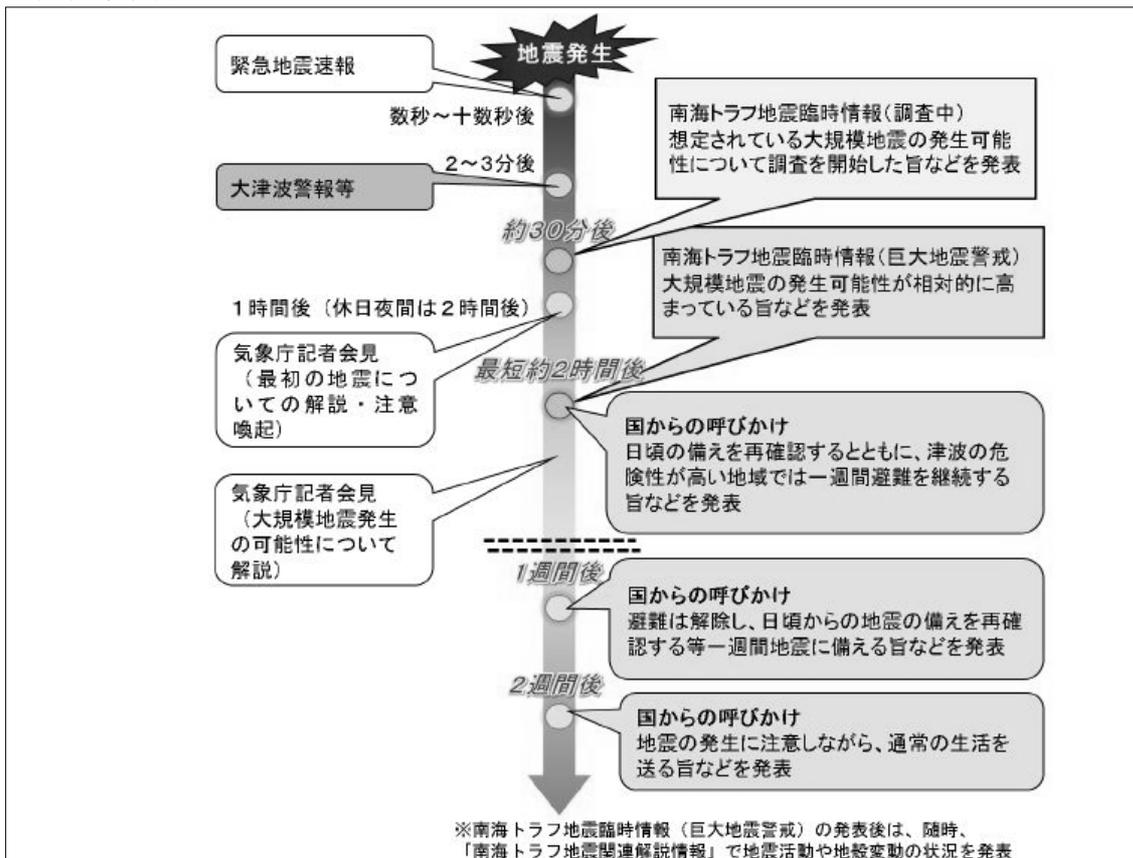
4 南海トラフ地震臨時情報発表までのフロー



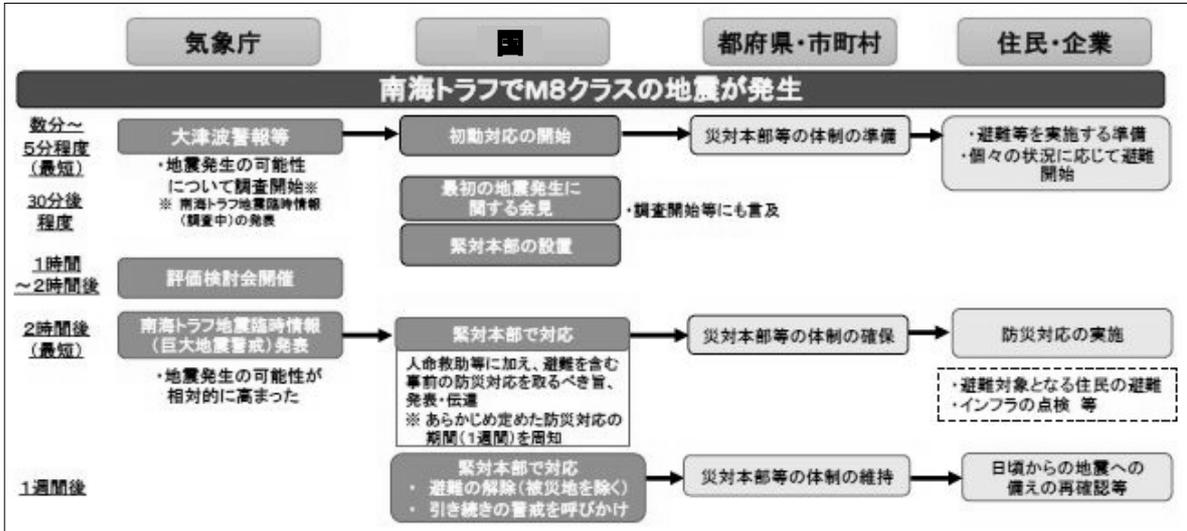
出典 南海トラフ地震の多様な発生形態に備えた防災対応検討ガイドラインをもとに作成

5 南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）に該当する場合の情報発表及び防災対応

(1) 情報発表の流れ



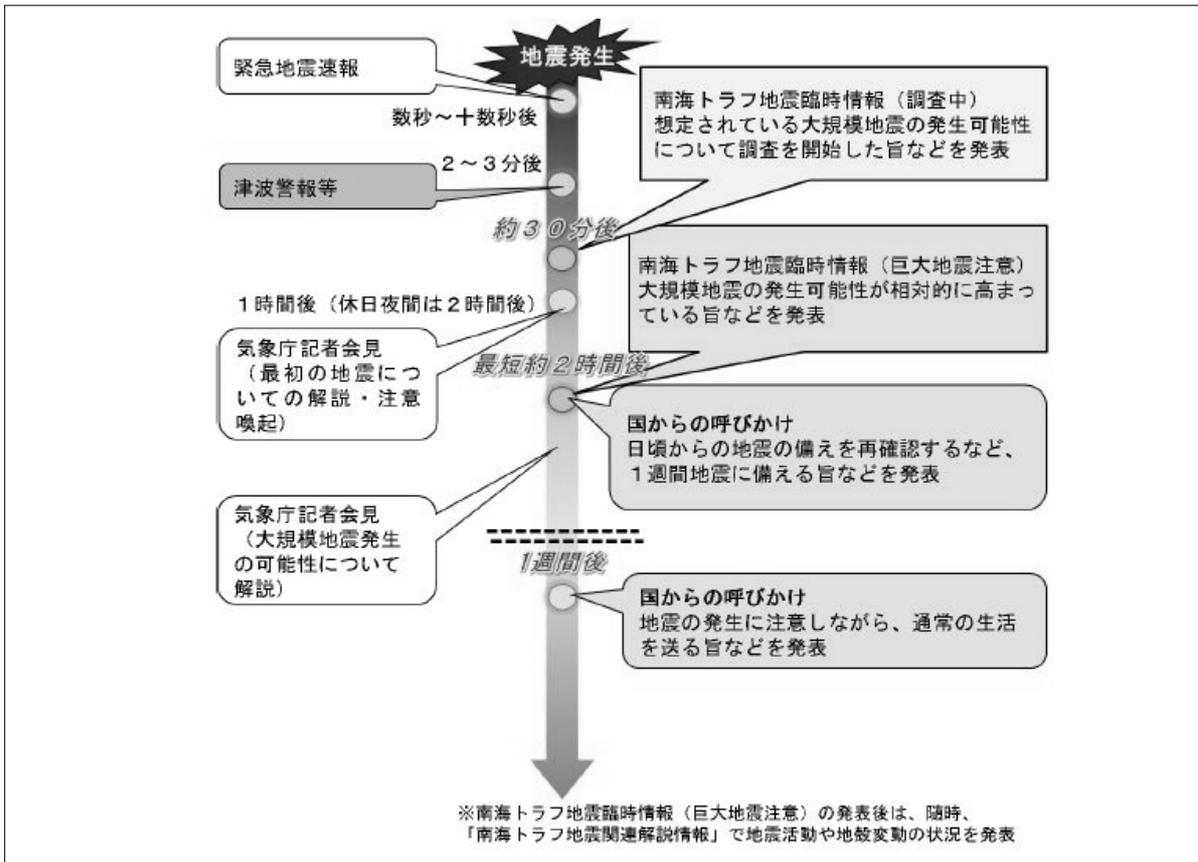
(2) 防災対応の流れ



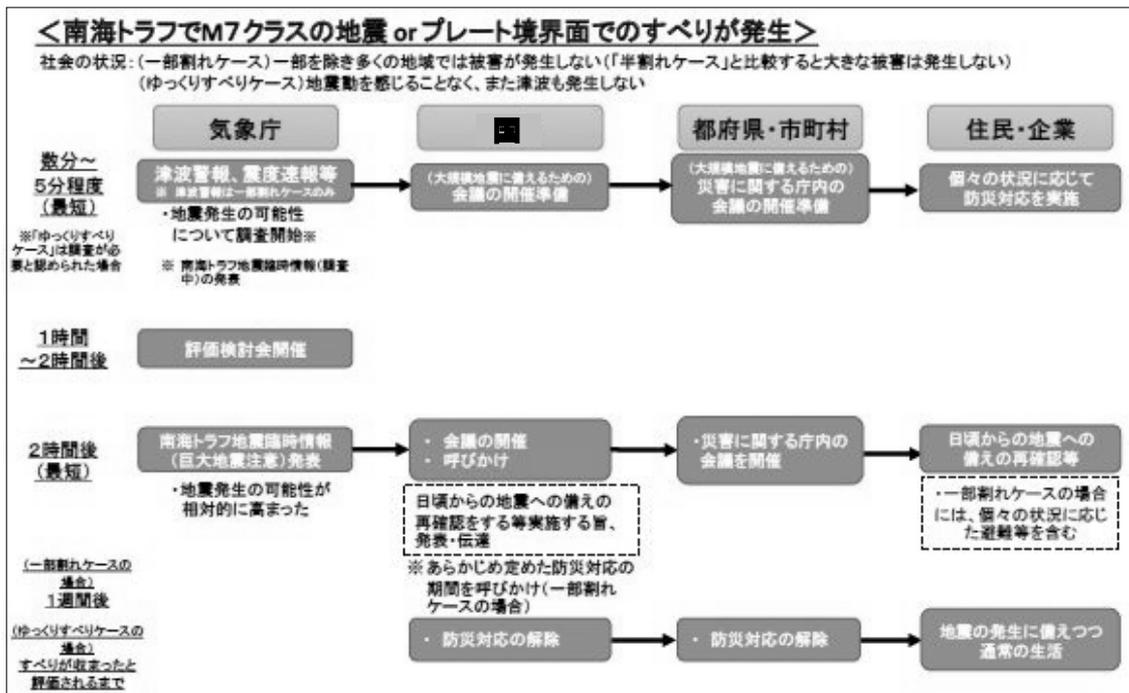
出典 南海トラフ地震の多様な発生形態に備えた防災対応検討ガイドラインをもとに作成

6 南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）に該当する場合の情報発表及び防災対応

(1) 情報発表の流れ



(2) 防災対応の流れ



出典 南海トラフ地震の多様な発生形態に備えた防災対応検討ガイドラインをもとに作成